



発行所 福井県大野郡 和泉村

(昭和44年10月1日現在)

村の人口	5人
出生	1人
死亡	19人
転入	24人
転出	2,538人
総人口	1,316人
男	1,222人
女	688人
世帯数	688世帯

村の面積 332.26平方km

**今月の目標**  
読書の秋です  
●本を読む習慣をつけましょう。  
●良い本を読んで人格を高めましょう。

**火災発生時の緊急連絡法**  
一、火災現場を発見し電話連絡する場合は、火災、役場と申し込んで下さい  
二、連絡者は、火災現場と連絡者名をはっきり言って下さい。

## 九月定例村議会 一般会計 一千四百万円を補正 荒島林道増工事業費など

和泉村議会、第五十四回定例会は九月三十日に召集され、四十四年度一般会計及び特別会計補正予算案を始め、四十三年度一般、特別会計歳入歳出決算の認定や税条例の一部改正など議案七件、認定六件、推せん一件が原案どおり可決された。

一般会計補正予算(第二次)  
昭和四十四年度一般会計補正予算(第二次)は、一千四百二十七万九千九百九十九円が計上された。  
その内訳は次のとおりである。  
議会費 三拾万円  
総務費 四百九拾七千円  
電発建物移転費(二、一〇〇千円)等 拾二万八千円  
民生費 二拾一万円  
農林水産業費 七百四万九千円  
荒島林道増工費(五、五〇〇千円)等 百二拾万二千円  
土木費 △四百八拾六万六千円  
国道負担減など 二拾三万円  
消 防 費 三百拾五万九千円  
教 育 費 二百七拾七千円  
諸支出金 二億八千九百四拾四万六千円となつた

特別会計補正予算  
国民健康保険事業特別会計三拾八万  
一、和泉村診療所事業特別会計一  
万五千円をそれぞれ追加計上した。  
尚、提出議案、認定、推せんは次の  
とおりである。  
二、和泉村税条例の一部改正について  
改正について  
三、福井県町村職員退職手当組合を組  
織する地方公共団体の数の増加及び  
同組合規約の変更について  
四、昭和四十四年度一般、国民健康保  
険事業、診療所事業会計補正予算案  
五、昭和四十三年度和泉村一般、簡易  
水道事業、電源開発関係水没村林道  
付替事業、国民健康保険事業、診療  
所事業、農業共済事業会計歳入歳出  
決算の認定について  
六、和泉村農業委員会の委員の推せん  
について  
七、農業共済評価委員の選任について

◆ 広報はとじて保管しましょう



購入されたアングルドーザー

### 除雪機械購入さる

雪深く長い冬期間のある本村では、雪害対策の一環として、除雪機械購入の計画が立てられていたが、この程アングルドーザーD六十八A一三形(一〇〇馬力)が購入された。  
これは五四三万円(うち国庫補助金三〇〇万円)で購入したもので、去る十月一日午後一時から、荷暮地係(村道)において助役を始め、建設課長等が出席し作業の安全祈願と共に入魂式が行なわれた。  
今後冬期間の除雪に大きな期待がよせられている。

### 農業委員会委員改選さる

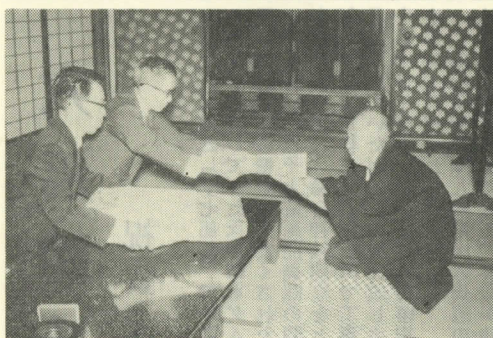
任期満了に伴う和泉村農業委員会委員の選挙は九月十一日告示され立候補届の受付が開始され、十二日立候補届出が締切られたが定員一パイの十氏以外に立候補の届出がなかつたので投票日を待たずに無投票当選が決つた。  
なお、村議会及び農協推せんによる委員を加え、十二人の農業委員会委員は次のとおりである。  
選挙による委員

新井 太郎	佐川 合
林 敏雄	下 山
幅 利夫	上 大
原 勇松	朝日 前
吹 与市	貝 野
三 島 衛	後 大
松 田 弘	伊 野
高 崎 利	角 野
平 瀬 次	角 野
谷 口 清	角 野
朝日 牧雄	朝 野
農協推せん委員	板 倉
森尾 正	

### 米寿を祝い訪問

去る九月二十六日、本年八十八才と  
なられ、しかも本村の最高令者でもあ  
る巢守富太郎さん(後野)朝日啓太郎  
さん(朝日)の家庭を沢田高志福祉事  
務所長(知事代理)本村の平野収入役  
(村長代理)島田住民課長、谷口老人  
クラブ会長の各氏が訪問、元氣なお姿  
と、なごやかな家庭の雰囲気にも接し  
て米寿を祝つてそれぞれ記念品を贈つ  
た。

### 記念品を贈る



窓の役場

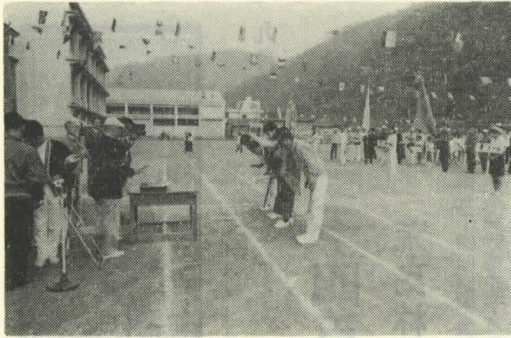
才十三回

# 和泉村民体育大会開かる

## 優勝旗は赤チームへ

第十三回和泉村民体育大会は、雲一つない晴天に恵まれた十月十九日朝日中学校々庭において開かれた。朝日小学校児童の鼓笛隊を先頭にスポーツ少年団員によるブレード、各チームの選手入場行進が行なわれた。大会長あいさつの後、例年の和泉村表彰式もあり四氏の方々が表彰された。

本年からは応援賞も出るとあつて早朝から各チームとも太鼓やドラム伍などをもち出すなど盛大な応援のうちに競技が進行され、全種目二十七(得点種目十七種目)に技を競い合い優勝が争われた。特に一般女子四〇〇米、一般男子八〇〇米リレーと総合リレーは本大会の花形であり各チームの応援団は総立ちで大歓声を秋空に飛びちらしていた。



また昼食時間を利用して朝日部落の熊野神社氏子若衆による昇竜太鼓や、下山部落の婦人会と小中学生の合同による万国博踊りなどが披露された。飛入では上大納の小太鼓とやすき踊りが出るなどゆかいな一コマもあり、プナの会青年による仮装行列では女性顔負けの男性が現われるなど観客から惜まない拍手が送られた。

成績は次のとおり

- 総合優勝 赤チーム(中竜)
- 〃 二位 青チーム(朝日四・五班)
  - 〃 三位 青チーム(上下大納)
  - 〃 四位 緑チーム(朝日一・二・三班)
  - 〃 五位 橙チーム(川合東五と白水けい)
  - 〃 六位 白チーム(下山・角野・板倉)
- 尚、当日表彰者は次の方々です
- 字野 一雄(村 議) 永年勤続功績
  - 田村 重次郎(村 議) 永年勤続功績
  - 上田タミコ(役場職員) 永年勤続功績
  - 谷口市松(評 価 委) 永年勤続功績

## 英霊やすかれ

### 戦没者慰霊祭執行さる

昭和四十四年度和泉村戦没者慰霊祭は、去る九月二十六日午前十時から朝日小学校講堂において導師長勝寺住職をはじめ、威徳寺、浄楽寺の各住職により厳修された。

この日、知事代理(高志福祉事務所長) 大野郡市温交会長、高志町村会長代理等来賓多数が参列され、香煙のたちこめる中を、しめやかな読経につれて遺族四十五名の方々が在りし日を偲びながら思いを新たに泉下の霊に冥福を祈られた。



慰霊祭のもよう

## 国民健康保険税率の確定

本年度の国民健康保険税額を算出する税率が確定したのでお知らせします

区分	43年度	44年度
所得割	百分の一・三	百分の一・四
資産割	百分の五・元	百分の六・元
被保険者均等割	八〇円	九〇円
世帯均等割	一四〇円	一四〇円

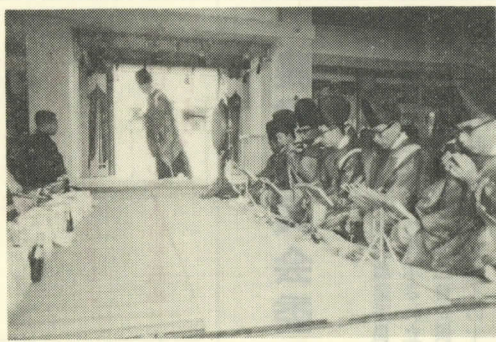
既に納付書が発行されている、一期「四月」二期「七月」は徴収の特例による「暫定賦課」で、前年度税額の半額となっており、今年度の課税総額から差引かれて、残額が後の三期「十月」「四月」「一月」に振り当てられ三、四期で税額の増える方と少なくなる方がありますので御承知下さい。尚、税額等について疑問な点は住民課迄お問合せ下さい。

# 穴馬総社竣工

## 祝賀会盛大に催される

旧上穴馬地区(七部落)では祖先より永年崇敬してきた氏神様もダム建設に伴い水没移転を余儀なくされたため、各神社の氏子と電源開発局の間で各神社を合祀し、総合神社建立を昨年九月総工費約二千五百万円で行工に着手していたが、この程完成し去る十月十日午前十一時から落成神事祝賀会が盛大に催された。

この総合神社は九頭竜ダム周辺の適地、野尻地係栗原に社殿、拝殿が建立され、記念碑、無縁仏の墓等も同一境内に移され、総社前には二百台可能な立派な駐車場まで設けられていて境内の高台にある展望台は西に長野地区、東に大谷地区を一望することができ、総合神社敷地としては最適な地であるこの日はあいにくにして小雨よりであつた。



あつたが、来賓を始め、総社落成を待ちこがれていた氏子、家族等約一、〇〇〇人が出席され、日ごろ離ればなれに暮している人々も久しぶりの再会にあつて、永年住み慣れた我が故郷の変わり果てた姿を眺めながら思い出話に花を咲かせ、お互の健康を祝福し合うなどなごやかな一日であつた。

毎年の例祭には皆さんの元気な姿を見せていただくことを楽しみに、ご健康とご発展を祈りたい。

## ねたきり老人を慰問

### 寝具など贈る

このほど長期間病床に就いている気の毒な六十五才以上の寝たきり老人七名の家庭を宇野助役(村長代理) 島田住民課長、谷口老人クラブ会長の各氏が病床を訪問、村からは寝具、老人クラブからも慰問品を贈って病苦になやむこれらのお年よりを慰め元気づけた

## 人のうごき(九月份)

- 【出生】 上大納 木原秀人 良雄次男
- 【婚姻】 朝日 山本 九千代
- 岐阜花月町 清水 万亀男
- 上大納 須賀 君子
- 上大納 佐々木 紀子
- 【死亡】 上大納 高橋大二(喜)

# 和泉村財政事情

## 昭和四十三年歳入歳出決算

和泉村財政事情の作製および公表に関する条例の定めるところにより、村の財政事情を公表します。今回、昭和四十三年歳入歳出決算と昭和四十四年度上半期（四月一日から九月三十日まで）の財政運営状況など、村財政の推移と現況について、そのあらましを説明します。

この財政事情は村民の皆さんに村財政の現況をお知らせし、その実態と村行政の動きを充分ご認識いただくためのものであります。

今後共一層村勢発展のためご協力をお願い申し上げます。

昭和四十四年十一月一日

和泉村長 杉 本 又 助

### 重点施策に積極的効率運営を目標に

昭和四十三年度の村財政は、電源開発の終了に伴う増収等自主財源の大幅な減収と、さらには地方財政の硬直化傾向等内外共にきびしい財政環境の中にあつて、和泉村百年の大計を基調とし、交通網の完備と新しい村造りを旗印として、農林業、地下資源開発、観光開発を重点施策とし、地域住民に負担をかけない方針で積極的効率運営を行つて来ましたが、その結果甚だ苦しい財政運営となりましたが、村民各位のご理解とご支援により重点施策を推進出来たことを深く感謝いたします。

昭和四十四年度におきましては、長期的視野に立つて重点施策を強力に推進しつづける限り財政の健全運営を計り、住みよい明るく豊かな村造りに取り組んでまいります。

事業推進と村の発展は村民の皆さんのご理解とご協力によつてなし得るものであり、今後共村の財政状況を正しくご理解いただいで建設的御意見を御協力をお願いいたします。

### 一般会計決算の收支

昭和四十三年一般会計の決算額は歳入、二億三千八百二十五万七千五百十八円、歳出、二億三千六百七十七万

七千二百五十円で、歳入から歳出を差引いた形式収支では、百四十八万二千六百八十八円の黒字となりました。これを前年度と比較すれば、歳入で約六百八十八万七千円（対前年度伸率二一・〇％）、歳出で約九百五十四万六千円（対前年度伸率四〇・〇％）の増加となっております。（才一表参照）

### ◎ 歳入の状況

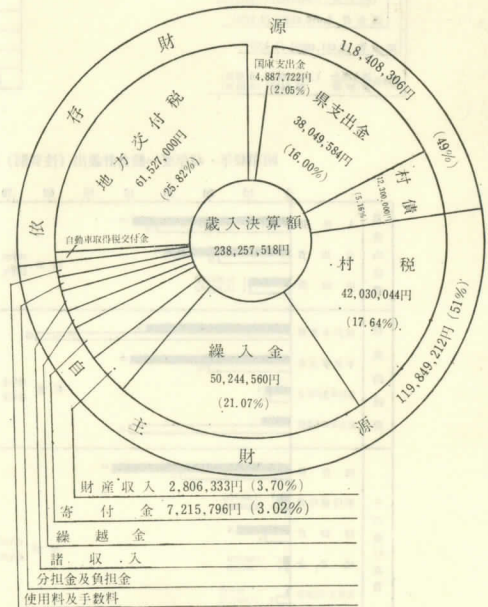
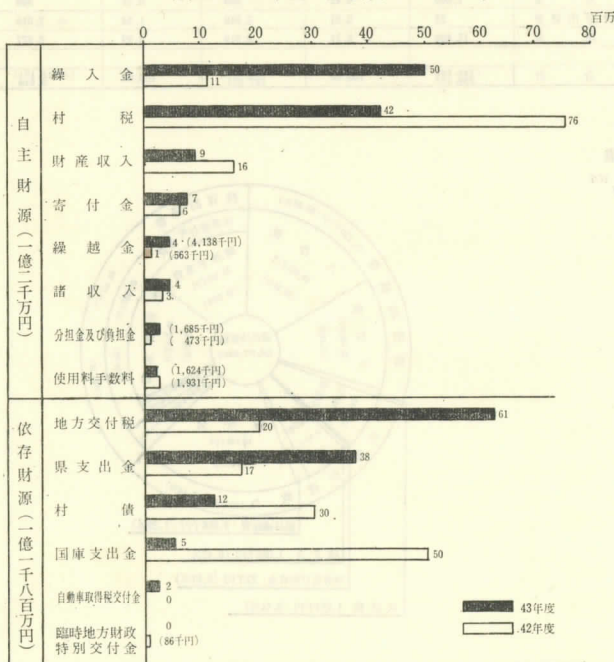
歳入の決算額は、二億三千八百二十五万七千余円で前年度に比べて約六百八十八万七千余円（対前年度伸率二一・〇％）の増加となっておりますが、これを収入科目別に見ますと、自主財源においては電源開発終了に伴う村税の著しい鈍化と、財政調整基金等とくずしによる繰入金の増加が目立ち、一方依存財源を見ますと、災害復旧等のはぼ完成により国庫支出金が大巾に減収したのに対し、初年度を迎えた林業構造改善事業における県支出金、地方交付税などいずれも大きく伸び、歳入決算額に対する依存財源は、約一億一千八百円で、四十九パーセントを占めています（第二表及び附表一参照）

### ◎ 歳出の状況

歳出の決算額は、二億三千六百七十七万七千余円で、前年度に対し九百五十四万六千余円の増額となっております。

従来、重点施策の一つとして取り組んだ災害復旧事業がほぼ完成し、新しい村造りに対する農林、観光及び地下資源開発などの方向にむかい、道路網の整備を中心とした建設的業務費の伸率が大きく、その構成比は歳出決算額に対する四十二パーセントを占めております（第四表、五表及び附表三、四参照）

昭和42・43年度一般会計歳入決算比較表



# 昭和四十四年度上半期財政状況

昭和四十四年度当初予算は、投資的経費を増額し、新しい村造りに対する基本的施策をさらに充実させ、行政効果と総合的見地に基づく経済効率を重点に、年間予算を編成したことは、先に公表したとおりであります。

上半期においては、交通網の整備促進を基幹とする林業、観光、地下資源を各開発に伴う建設的経費として、当初予算において五一、六パーセントを投じ、さらには谷山林道、あるいは荒島林道計画の予算化、土木費における道路新設改良など、九月末現在の補正後の予算額は、二億八千九百四十四万六千円となっております。

第一次補正予算額 六、三九五九千円  
第二次補正予算額 一四、四二七千円

この財源については、県支出金を始め、財政調整基金よりの繰入等により収支の均衡を得たものであります。

尚、特別会計決算状況は次のとおりです。

電源開発関係水没村林道付替事業

昭和43年度一般会計歳入歳出決算の状況

款 別	昭和43年度			構成比
	予算額 A	収入済額 B	収入割合 B/A	
1 市町村税	38,824,000	42,030,044	108.2	17.64
2 自動車取得交付金	1,320,000	1,644,000	124.5	0.69
3 地方交付税	52,135,000	61,527,000	118.0	25.82
4 分損金及び負担金	2,439,000	1,685,482	69.1	0.72
5 使用料及び手数料	1,912,000	1,624,309	84.9	0.68
6 国庫支出金	4,171,000	4,887,722	117.1	2.05
7 国庫府県支出金	41,064,000	38,049,584	92.6	16.00
8 財産収入	7,650,000	8,806,333	115.1	3.00
9 寄附金	9,586,000	7,215,796	75.2	3.02
10 繰入金	71,996,000	50,244,560	69.7	21.07
11 繰越金	3,953,600	4,138,873	104.4	1.73
12 諸収入	2,439,000	4,103,815	168.2	1.72
13 地方債	12,300,000	12,300,000	100.2	5.16
14 歳入合計	249,800,000	238,257,518	95.0	100.00

昭和43年度一般会計歳出(目的別)決算額の状況

款 別	区分	昭和43年度			構成比
		予算額 A	支出済額 B	支出済の率 B/A	
議 会 費		5,170,000	5,016,616	97.03	2.12
総 務 費		51,093,000	47,998,462	93.90	20.27
民 生 費		5,873,000	5,290,102	90.07	2.23
衛 生 費		3,160,000	2,651,486	83.90	1.12
勞 働 費		53,000	29,648	55.94	0.01
農 林 水 産 費		49,744,000	48,799,498	98.10	20.61
商 工 費		13,173,000	12,309,032	93.40	5.20
土 木 費		29,626,000	28,803,963	97.20	12.17
消 防 費		6,810,000	6,478,144	95.12	2.74
教 育 費		42,488,000	38,976,580	91.70	16.46
災 害 復 旧 費		7,808,000	7,064,481	90.47	2.98
公 債 償 還 費		32,366,000	32,339,238	99.99	13.66
子 備 費		1,368,000			0
諸 支 出 金		1,070,000	1,020,000	95.32	0.43
合 計		249,800,000	236,777,250	94.00	

国民健康保険事業 歳入 一、七五二、〇〇〇円  
歳出 一、一六八、一八四円

診療所事業 歳入 八、一三七、〇九六円  
歳出 七、七九五、八三七円

簡易水道事業 歳入 四、九七〇、三五〇円  
歳出 四、四三二、三四九円

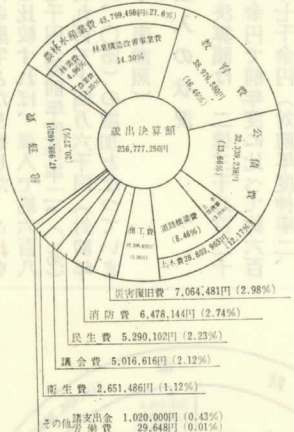
農業共済事業 歳入 一、九六四、八一四円  
歳出 一、六九六、三二九円

特別会計合計 歳入 一、八〇五、一八三元  
歳出 一、一七三、一七三元

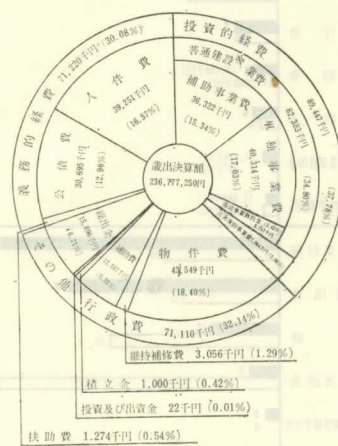
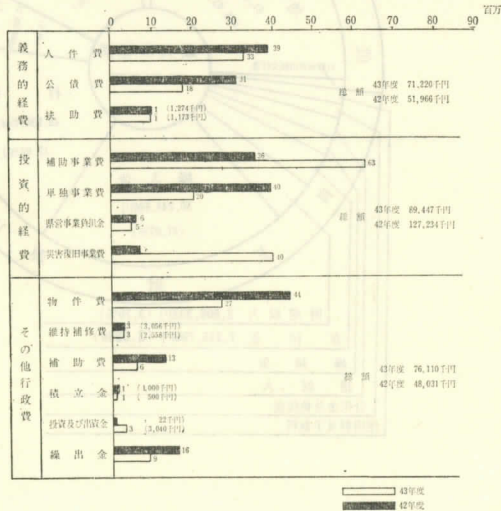
昭和43年度一般会計歳出(性質別)決算額の状況

性質別	43年度		42年度		比較 (A)-(B)
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	
義務的経費	71,220	30.08	51,966	22.87	19,254
(1) 人件費	39,251	16.57	33,133	14.58	6,118
(2) 公債費	30,695	12.96	17,660	7.77	13,035
(3) 扶助費	1,274	0.54	1,173	0.52	101
投資的経費	(191,199)	42.74	(263,703)	72.51	(△162,504)
(4) 普通建設事業費	95,447	37.87	127,234	61.63	(△139,993)
補助事業	82,383	34.80	87,669	38.58	△5,286
単独事業	36,322	15.34	62,982	27.73	△26,660
経営事業負担金	(52,066)	20.95	(156,527)	43.09	(△104,461)
(5) 災害復旧事業	40,314	17.03	20,058	8.83	20,256
5,747	2.43	4,629	2.04	1,118	
7,064	2.98	39,565	17.41	△32,501	
その他の経費(行政費)	76,110	32.14	48,031	21.14	28,079
(6) 物件費	43,549	18.40	26,712	11.75	16,837
(7) 維持補修費	3,056	1.29	2,558	1.13	498
(8) 補助金	12,587	5.32	6,302	2.77	6,285
(9) 積立金	1,000	0.42	500	0.22	500
(10) 投資及び出資金	22	0.01	3,040	1.34	△3,018
(11) 繰入金	15,896	6.71	8,919	3.93	6,977
歳出合計	(248,979)	100.00	(363,700)	100.00	(△114,721)

昭和43年度一般会計歳出(目的別)決算比較表



昭和42年・43年度一般会計歳出(性質別)決算額比較表



# スポーツの秋！

## 体力を知り健康な体力づくり

### 健康は各自がつくる

明日に生きる「からだ」カモシカの足は、すらっとしているようにバネのある強く美に美しいものです。人間も、からだのすみずみまでこのように鍛えられていけば、どんなにすばらしいことでしょうか。強く、若々しく、美しいからだにこれが持たない人はいないと思います。

人間のからだや心は、文明の進歩につれ、しだいに弱く、もろくなつてきています。進展する社会、宇宙時代を強く生きぬくには、生活習慣や態度で反省すべき点も多いと思いますし、強く、柔らかく、敏しように、忍耐力のある器用な「からだづくり」が必要です。

### 体力を知る

体力テストを受けることにより、体力を知り、体力年齢が何才かを知らせ、自分は体力のどの面がおとつているかを自覚して、それに合った体力づくりをしなければなりません。

「体力テストは他人との体力の優劣を比較するものではないし、また体力のある人に必要なものでもない」

健康検査(診断)の科学的検査を定

●健康のようすを知る

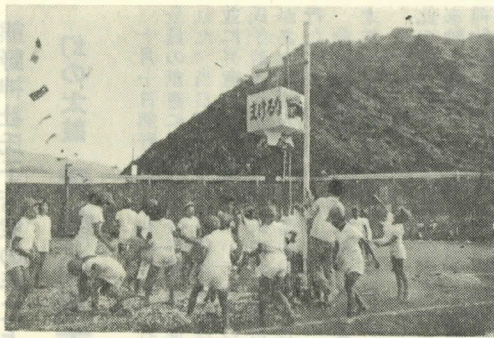
健康検査(診断)の科学的検査を定

### オ二巡回スポーツ指導が実施される

県教委、保健体育課、村教委、村体協主催で実施されます。

内容として、壮年体力健康の話、体力テスト、楽しく手軽な体操、フオークダンス等の日程で実施されます。

村公民館活動の生活目標の一つに、「体力を知る」の目標がありますように村民こそつて受けましよう。



マンドやぶり1.2.3年生

期日 十一月九日 日曜日

場所 大納中学校

時間 九時開会 午後四時終了

対象 青年、一般男女

テストといつても実に簡単で、むづかしくはありません。お気軽にどうぞ。

### 暖房器具の取扱いに注意

期的に、進んで受けましよう。治療から予防の時代です。成人病予防上からも、ガン、血圧、尿、血液、心臓等の検査が必要です。また、体力を作るうにも、からだのどこかに異常があることせつかくの体力づくりが逆効果になることもありましよう。

### 一日の百分の一を

毎朝顔を洗い、歯を磨くと同じような「健康づくり」の国民的習慣が形成されたら、さぞすばらしい日本人であることであろう。一日の百分の一の時間、即ちわずか十五分ばかりを全村民が自らの健康、体力づくりのために費しても、惜しい筈はないと思います。

### 朝日小中学校運動会催される

スポーツの秋を迎え、朝日小中学校では去る九月二十一日、秋晴れに恵まれ全校生徒参加のもとに体育大会が盛大に開かれ、日頃鍛えた体力、気力を遺憾なく発揮した。特に百米競走、混合リレー、一五〇米は大奮闘であった。なお本年度は福井県教育委員会より保健体育の研究委嘱校として指定を受け、四月以来その研究と実践に努力を重ねて来たせいもあつてか、日頃の成果を充分発揮された。

又、朝日小学校においても九月二十

### 県連婦人体育大会に参加して

#### 大会に参加して

八日午前十時から運動会が盛大に開かれた。「赤」勝て「白」勝ての応援のうち競技が進められ、赤、白対抗リレー、総合リレーのあつたあと、全校生徒によつて、どんりんばやしを踊つて有意義な一日を過ごした。

去る四日、福井運動公園に於て才十回県連婦人体育大会が開催されました。和泉村婦人会でも学級活動の一部として、他町村との交流と活動ぶりを学ぶために、四十五名が国鉄バスを貸切つて、八時役場前を出発し、十時よりの入場行進は村旗をかかげて堂々の行進を行い、高志地区体育会での自信もあり、カッコいい応援も加わつて、百米競走では年代別、二位、一位、四位、綱引きも難なく勝ち、ボール送り風船割り、顔かきと、いずれも良い成績が上がり、スピーカの結果発表の度にワァーと歓声が上がつたが、今年はや点でなかつたため、トロフィーが持ち帰れなかつた事が残念でした。この結果からも昨年の国体での天皇杯のごとく、少人数でもやれば出来る力を合せれば何事も出来ないことはないことを身を持って体験し、明日からの会活動に、学級運営に、この意気で進もうと張り切つてパスの中にもぎにぎしく六時役場前に着いた。

**ガッコオヤジ**  
No.20 味山みなる

お知らせ!!  
いすくを  
よくする会  
〇月〇日  
午後七時より  
時間厳守

実際に始まる時間  
一時間後

せして...  
11月5日  
の朝

年賀はがき  
走りさばきの日  
一時間前

### しもづき(十一月)

交通機関の発達にと  
もない国道一五七号  
線の改修工事も着々と進み、計画による  
と四十五年末までに  
は大野/白鳥間が全  
線舗装の完了という  
ことで、ドライパーにとつてこの長い  
期間をどんなに待ち望んでいた事であ  
りましよう。

関係機関をはじめ、直接工事を担当している業者に対し感謝の意を捧げますと共に、工事完成をめざし、今後益々の御奮闘を期待するものであります。しかし、難工事と云われている下山葛ヶ原間の早期完成こそ、自動車を所持運転者一人一人の願いではないでしょうか。

ある区間では、時間制限等の措置もとられて工事を進めています。制限時間が過ぎては通行させてもらえず、長時間待たされたり、小型自動車を通行困難な状態では、いつときを争う緊急の場合にどうなる事だろう。ようやく通り過ぎて目的地に到着しても用件が達成できなかつた方も少なくはないでしょう。

業者の方も、もう少し親切をもつて車の通行しやすいように石ころの一つもかけてやるだけの心構えがあつてもいいのではないのでしょうか。乗用車でダム見学に訪れた観光客の一人は、工事現場を通行中車をいたため、来るには来たが帰りが心細くなつたと嘆いていました。が、まったく申される通りではないでしょうか。

工事担当業者には毎日御苦勞様でございますが、もつと運転者の身になつて早期完成を切望するものであります。



熊野神社氏子若衆の手により

幻の太鼓 昇龍の発表会が盛大に催さる

十月十日熊野神社祭礼の日氏子若衆全員の創意により発表会が盛大に催された。当日氏子総代朝日牧雄氏の挨拶並に昇龍太鼓の由来についての話の後氏子若衆代表、表俊一氏のお礼の言葉があり見物人約百五十名の中賑々しく行なはれた。

最後に大野市の田中氏他一名による太鼓の模範的な演技が行なはれた。

趣意

此の度熊野神社氏子若衆の創意により奉納太鼓を神に奉讀し、由緒ある熊野神社祭礼を盛り立て、氏神の威徳と祖先の守護の偉大さを忘れず若衆の精神修養の器とし剛気活達の氣風を養い神の子としてはぢない心身鍛錬を目的とするものであります。又此の太鼓を一層練磨し、郷土芸能として尚觀光立村を目指す村の発展に大きな役割を果たすべくたゆまぬ努力をするものであります。

熊野神社氏子若衆一同



少しの注意で防げる大火

由 来 (概略)

その昔ここ穴馬村に突然九つ頭の頭をもつ巨大な竜が天下り平和郷穴馬の住民は一大恐怖にふるえ上つた。凶暴なこの竜は耕作物は勿論、谷川の水も飲みほし、果ては人身にまで危害を加え始めた。村人達は連日会合を開き相談の末、何か大きな音の出るものをうち鳴らすことにより竜が昇天しゆくことを思い立ち大きな太鼓をもちより、これをうち鳴らした。其の音はある時は万雷の如く、ある時は子守唄の如く、さすが凶暴な竜も其の絶妙なる調べに一大旋風をまきおこし昇天してしまつた。そして再びもとの平和な村にかえつた。

高志消防協会

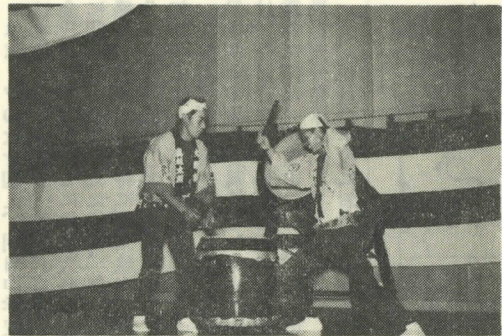
秋期消防総合演習

昭和四十四年度高志消防協会秋期消防総合演習が十月十五日吉田郡上志比村小学校において、高志管内の七町村消防団参加のもとにおこなわれた。この日高志消防協会会長より前和泉村消防団長水谷豊氏に感謝状が贈られた。引続き団員の表彰式があり和泉村消防団員は次の方々の功績が認められた。

特別功労章

- 西 昭明 加藤一美 洞口佐智男
- 下出定幸 古川 涉 新井真澄
- 功 内利雄 新井基衛
- 功 内利章
- 平瀬利夫 谷口久雄 加藤一美
- 森 忠雄 長岡昇一 伊丸岡三郎
- 阿部定男
- 永年勤続章 中内智利

其の時うたれた太鼓が昇龍太鼓であります。以来変転過激な世の流れに意義ある太鼓は忘れ去られて来ましたが、今氏子若衆によりこれを再現し発表するものであります。



狩猟シーズンを迎え

銃の取扱いは完全に

十一月一日から狩猟が解禁になり来年二月十五日までは、野に山に銃声の響きがこだますることでしょう。しかし最近、道路建設や宅地造成などの影響か、え物は年々少なくなるばかりですが、反対に狩猟スポーツとして楽しむ人が、ガンブームの影響で倍々増えています。現在、和泉村管内で所持許可を受けている猟銃やライフル銃、空気銃は五十五丁以上になっており、ところが狩猟期になって絶えないのが猟銃などによる事故です。特に次のような事例を参考にされ、慎重を極め必ず狩猟のルールに従って取扱つて下さい。

引金に竹、笹がかかつて暴発し顔面に命中し即死した。  
二、猪狩中、山仕事中の農夫を間違えて撃つたため即死させた。  
三、銃の負革が切れて地面に落ち、そのショックで暴発し、猟友の胸部に命中即死させた。  
又、単独で遠い山へ狩猟に出ることは遭難事故を起すものになりますから注意して下さい。

朝日巡査部長派出所

ねずみの駆除

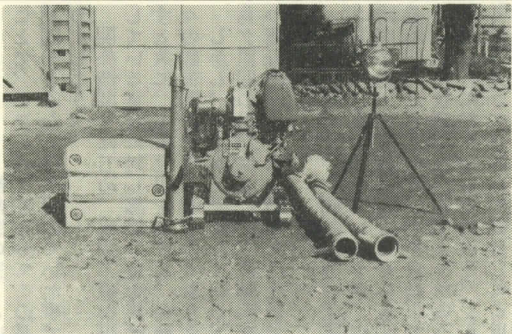
ねずみはその体や足の裏につけて運ぶ病原菌としてはベスト、発疹熱、ワイルド病などがあります。又ねずみにかまれた場合は鼠咬症になる可能性があるのでも直ちに消毒手当をする必要があります。それにねずみの口の中にはサルモネラ菌が寄生していることが多く、ねずみが口をつけたものをそのまま食べることは食中毒の原因になります。絶対にやめるべきである。ねずみに寄生しているイエダニは人間の体にもつき易くアカムシの幼虫が人間の体にもつき易くツツガ虫病になり易いのです。このようにねずみは多くの害を持つた動物ですのでその駆除には充分心がけたいものです。駆除の方法には深いつばつり浮べその上に板を浮せ、えさをのせておくと、それに向つて飛びこむというわけですが、この時つばにはよじのぼれないので、はしをつくつておくことを忘れないでください。次にねずみ取りですが、これをしかける時はねずみの通り道におかず、通り道の近くにおいてやり、その上物かげを作つてやることです。又毒餌もありますが、これは作用により二つに分けられます。食べてすぐ死ぬものと、もう一つは視神経に作用して次第に目が見えなくなり、明るい所

に出て来て死ぬものですが、どちらにしても夏は死骸が腐敗しやすいので、さけて冬使用するのが適当です。えさもねずみの通り道におかず少し離しておくとがコツです。ねずみの通り道は一度決まると大体変らないものですから穴などをふさぐことも大切です。ねこを飼うことも効果があるのは、ごぞんじの通りです。

小型動力ポンプ

購入された小型動力ポンプ

消防力強化  
小型動力ポンプ三台を購入  
村はこのほど可搬動力ポンプ(二五馬力トローハツ)を三台購入し九月三十日第三分団(下山)第四分団(上大納)第五分団(中竜)それぞれ配置した。



あ と が き

秋も深まり寒さ身にしむ頃となりました。感冒にかかり易い季節、御一同様充分健康に気をつけて下さい。又、冬を迎える準備はいいかがでしょうか。冬物衣類の整理、寒さを迎える家の内外の準備も早目にしておきましょう。